

2023年4月24日

メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証プライム市場3902）

（2023年4月22日付リリース）マルチモーダルAIのエクサウィザーズと業務提携 医療ビッグデータで希少疾患の診断精度向上などに貢献

国内最大規模の医療ビッグデータを保有するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之、以下「MDV」）は、マルチモーダルAI（※1）技術を持つ株式会社エクサウィザーズ（同港区、代表取締役社長：春田真）と業務提携することで基本合意したことをお知らせいたします。AIでMDVの医療ビッグデータを分析し、希少疾患の診断精度向上や潜在患者（正しい病名で診断されていない患者）のスクリーニングに貢献していきます。

※1 マルチモーダルAIとは画像、動画、センサー、音声、テキストなど多様なデータに対応できるAIのこと

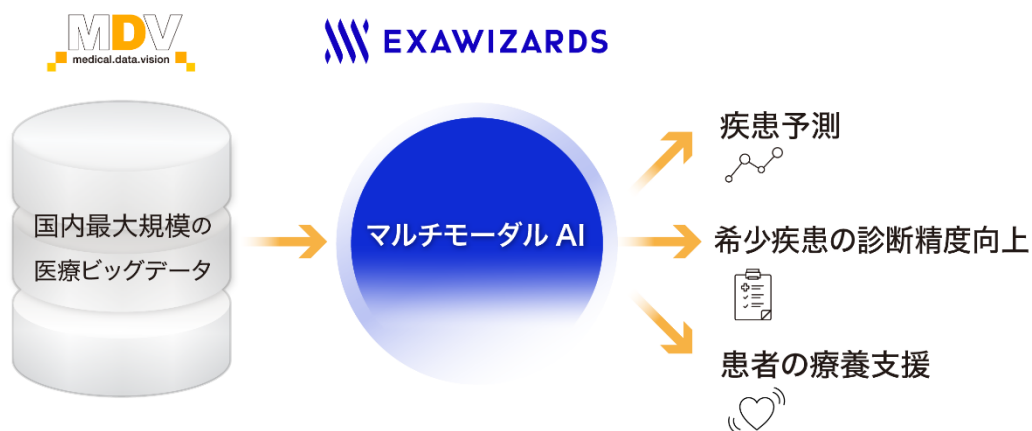
両社が業務提携することで、疾患予測プログラムの開発、医師向けの学習用データ作成など、従来ではできなかった革新的な医療サービスを提供していきます。中でも、希少疾患分野に注力します。また、医療分野におけるデータ駆動型（※2）の事業を確立することを目指します。本業務提携により、2023年度内に新サービスの提供を開始する考えで、その後も順次、新しいサービスを提供していく予定です。

※2 データ駆動型とはリアルタイムでデータを収集し、そのデータを基に意思決定する仕組み

MDVはオープンアライアンス戦略のもと、昨年5月に株式会社ディー・エヌ・エーと業務提携をし、両社で蓄積してきたデータベースを連携することで国内最大規模の保険者データベースを構築しました。これにより健康保険組合データが上乗せされ、国民健康保険加入者、後期高齢者のデータも加わることで、従来からある病院データに加えて保険者データも国内最大規模に拡大しました。利活用可能なデータベースは3月末時点で病院データは4,322万人、保険者データは1,911万人となりました。

エクサウィザーズは2016年の創業時より、AIを利活用したサービスの開発、実装、戦略立案などの事業を展開しており、マルチセクター・マルチモーダル戦略としてAIプラットフォームおよびAIプロダクト事業の両輪を回しながら、独自のアルゴリズム・データを蓄積しています。累計特許出願数は191件、累計特許取得件数は85件（2022年12月末時点）で、ロボット、AIカメラ等のハードウェア領域においても先進技術を保有しています。

【提携による価値創出のイメージ】



<本件に関するお問い合わせ先>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室 担当：君塚、赤羽、汲田

TEL : 03-5283-6911 (代表) MAIL : pr@mdv.co.jp